

# おやつのかん3 -ちょっとひとやすみ-

—どんな『春』になりそうですか—

NO. 117



仕事柄もありますが、私は日常クルマでの移動がほとんどです。行き先が遠かろうが、都心だろうがクルマで向かうのが常なのですが、先日、電車で都内に出なければいけない事情があり、久しぶりに電車を乗り継ぎました。楽しさもある反面、何やらプチ緊張感もあり、用を済ませ帰宅したときの「ただいま」は、いつも以上のホッと感がありました。ちょっとした環境の変化でも、世界は広がり楽しいですが、いつもよりエネルギーを使いますね。疲れました。

子ども達の『春』、これからやってくる4月を見据えてみると、場所や人が替わったり、時間の流れが変わったり、家族の動きが変わったりと、新しいことが待っている子や家族が少なくないと思います。特に、卒園卒業、進学就学、就園等で場所が替わる場合は、初めての人との出会いがもれなくついてきます。クラス替えも子どもにとっては大きな変化です。しばらくは、馴染むこと、合わせることに力を注がなければなりません。楽しさと戸惑いのバランスが悪くならないように、十分な引継ぎはさせていただければと思いますが、向かうのは子ども自身ですので、取り巻く大人は温かく見守り包んでいきたいものですね。

まだ2月ですので、その波はやってきてはいません。でも大人は4月からの姿や生活を想定することはできます。無理なく準備をしていきましょう。新たに使うグッズがあるようなら、目にはしておいたほうがいいですね。見えるところに置いておいて、興味があったらいじってみる程度で。「これを知っておかないと大変かも」と迫るのではなく、子どもが春に向けてワクワクするくらいがよいと思います。

今回お話したいポイントはもうひとつあります。これじつは、とても大切なことなんです。ぜひ心にとめておいてください。

それは、“変わることが多いとき”に“変わらないもの”を少し日常に残しておくことです。

まずは家庭内のこと。「ひとつ学年が上がったでしょ」「一年生になったのだから」と“オモチャを入れ替える”なんてことはしないほうがいいです。部屋の模様替えや整理も、子どものスペースは最小限度に。日中過ごす場所で使う道具（スプーンフォークやお箸、クレヨン等）も、新調するようなら、家で使う他の道具はできるだけ同じものがよいと思います。「ただいまあ、あ～疲れた」でリセットできるのは“いつもの我が家”がいちばんです。通い先での生活が安心安定してきたなと感じたら少しずつ広げてみてください。長い意味では、進めることも必要です。

お習い事や出かける習慣になっている場所は、本人がお気に入りなら、しばらくは変えないほうがよいと思います。いろいろなことが新しくなっても、変わらぬ“いつも”があると安心です。落ち着いてきた姿を感じたら、楽しく新たなチャレンジを相談してみてもよいと思います。

“変わるとき”こそ、「これは大事」と思う“変わらないもの”を大切にしていくことで、培ってきたものを無くさずに済みます。でも、子ども達は我々大人とは違います。どんな子も右肩上がりです。“変わらない”過ごし方の中でも、少しずつ子ども自身がアップデートさせていきます。安心して「おかえり。いつものあれ、置いておいたよ」と声をかけて大丈夫です。(R8. 2) K

